

- ▶ 伊那市は、市域の約82%が森林であり、その多くが近くに林道や作業道がなく、森林整備を行うにも多大な費用が掛かってしまうことから、森林環境譲与税を財源として、新規林道の開設を行うとともに、森林経営管理制度に基づく取組みを進め、森林整備の推進を図る方針。
- ▶ 令和元年度においては、今後の森林整備に繋げて行くため、以下の取組みを行いました。
  - ・ 新規林道開設を行うために、下方路線の既存林道改修工事を行う。
  - ・ 新規林道開設のための、現地調査、測量設計を行う。

□ 事業内容

1 既設林道改修事業

- ・ 森林整備の促進を図るため、新規開設予定林道の下方路線のあたる既設林道の拡幅を含む改修工事を実施した。

【事業費】 25,177千円（うち譲与税22,864千円）

【実績】 既設林道改修 L=3,433m

2 新規林道開設事業

- ・ 新規林道を開設するため、現地の測量設計を行い次年度以降の開設工事の準備を実施した。

【事業費】 7,150千円（うち譲与税0千円）

【実績】 測量設計業務 一式 L=900m



（事業1：作業中の様子）



（事業1：竣工）

□ 事業スキーム

1 既設林道改修事業



2 新規林道開設事業



□ 工夫・留意した点

- ・ 今回の林道開設事業は、地元自治協議会と財産区からの要望によるもので、地元の意見を聞きながら一緒に進めることで、より一層森林等に対する意識の向上が図られた。
- ・ 新規林道が官行造林地内を通すことで、国との連携を行うとともに、造林地管理の負担軽減につなげる。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	28,794千円
②私有林人工林面積（※1）	15,663ha
③林野率（※2）	82%
④人口（※3）	68,271人
⑤林業就業者数（※4）	169人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より